

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第4項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成24年1月13日
【四半期会計期間】	第104期第1四半期（自平成23年4月1日至平成23年6月30日）
【会社名】	三櫻工業株式会社
【英訳名】	Sanoh Industrial Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	取締役社長 竹田 陽三
【本店の所在の場所】	東京都渋谷区渋谷二丁目3番6号
【電話番号】	03（5766）6641（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役執行役員財務管理部長 篠原 良幸
【最寄りの連絡場所】	茨城県古河市本町四丁目2番27号
【電話番号】	0280（33）1121（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役執行役員財務管理部長 篠原 良幸
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

1 【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

平成23年8月5日に提出した第104期第1四半期（自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）四半期報告書の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、これを訂正するため、四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

なお、四半期連結財務諸表の記載内容にかかる訂正箇所についてはXBRLの修正も行いましたので、併せて修正後のXBRL形式のデータ一式（表示情報ファイルを含む）を提出いたします。

2 【訂正事項】

第一部 企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移

第2 事業の状況

3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

第4 経理の状況

1 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

注記事項

(セグメント情報等)

(1株当たり情報)

3 【訂正箇所】

訂正箇所は_を付して表示しております。

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

(訂正前)

回次	第103期 第1四半期連結 累計期間	第104期 第1四半期連結 累計期間	第103期
会計期間	自平成22年4月1日 至平成22年6月30日	自平成23年4月1日 至平成23年6月30日	自平成22年4月1日 至平成23年3月31日
売上高(百万円)	20,713	17,786	79,768
経常利益(百万円)	1,949	824	6,206
四半期(当期)純利益	1,112	508	3,204
四半期包括利益 又は包括利益(百万円)	952	993	2,872
純資産額(百万円)	34,781	37,967	37,323
総資産額(百万円)	67,921	68,219	67,720
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	31.69	13.86	89.21
潜在株式調整後1株当たり四半期(当 期)純利益金額(円)	—	—	—
自己資本比率(%)	48.4	52.4	52.1
営業活動による キャッシュ・フロー(百万円)	1,695	△708	8,549
投資活動による キャッシュ・フロー(百万円)	△1,188	△1,196	△5,323
財務活動による キャッシュ・フロー(百万円)	669	△40	△408
現金及び現金同等物の四半期末(期末) 残高(百万円)	10,527	10,082	11,939

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(訂正後)

回次	第103期 第1四半期連結 累計期間	第104期 第1四半期連結 累計期間	第103期
会計期間	自平成22年4月1日 至平成22年6月30日	自平成23年4月1日 至平成23年6月30日	自平成22年4月1日 至平成23年3月31日
売上高 (百万円)	20,713	17,786	79,768
経常利益 (百万円)	1,949	822	6,182
四半期 (当期) 純利益	1,112	507	3,189
四半期包括利益 又は包括利益 (百万円)	952	992	2,858
純資産額 (百万円)	34,526	37,698	37,054
総資産額 (百万円)	68,093	68,372	67,872
1株当たり四半期 (当期) 純利益金額 (円)	31.69	13.83	88.81
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当 期) 純利益金額 (円)	—	—	—
自己資本比率 (%)	47.9	51.9	51.5
営業活動による キャッシュ・フロー (百万円)	1,695	△708	8,549
投資活動による キャッシュ・フロー (百万円)	△1,188	△1,196	△5,323
財務活動による キャッシュ・フロー (百万円)	669	△40	△408
現金及び現金同等物の四半期末 (期末) 残高 (百万円)	10,527	10,082	11,939

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期) 純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

第2【事業の状況】

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(訂正前)

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間における経営環境は、日本では、3月に発生した東日本大震災の影響を受け、自動車業界の生産活動が制限されました。生産活動は回復基調となっておりますが、原発事故による電力不足にとともに大幅な節電が求められ、円高基調も加わり、景気の先行きは不透明な状況となっております。震災の影響は、遅れて海外の生産拠点へ波及しており、予断を許さない状況が続いております。このような環境のなか、当社グループの主力製品である自動車・輸送用機器用配管製品ならびに自動車用樹脂製品は、自動車業界の生産活動の制限を受け、前年同期と比べて生産が大幅に減少いたしました。

その結果、当第1四半期の売上高は、177億86百万円（前年同期比14.1%減少）となりました。利益面につきましては、前期から取り組んできた構造改革によるコスト削減を継続してまいりましたが、経常利益は8億24百万円（前年同期比57.7%減少）、四半期純利益は5億8百万円（前年同期比54.3%減少）と、大幅な減益となりました。

製品別では、車輛配管製品（ブレーキ・燃料配管用等）、エンジンシステム向けのブレージング製品（燃料噴射用、冷却水循環用、オイル冷却用等）、樹脂製品（クイックコネクター、樹脂チューブ製品等）及び車輛安全製品（シートベルト用）のいずれの製品も、前年同期と比べて売上が減少いたしました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①日本

3月に発生した東日本大震災の影響を受け、取引先自動車メーカー各社の生産制限により、製品受注が大幅に減少いたしました結果、売上高は76億22百万円（前年同期比31.9%減少）、営業利益は1億30百万円（前年同期比89.4%減少）と減収減益となりました。

②北南米

米国自動車市場は堅調に推移し、売上高は52億64百万円（前年同期比2.4%増加）、営業利益は2億57百万円（前年同期比47.1%減少）となりました。

③アジア

タイ、インドをはじめとする東南アジアにおける自動車市場は引き続き堅調に推移し、売上、利益ともに増加し、売上高は26億89百万円（前年同期比19.3%増加）、営業利益は4億17百万円（前年同期比29.4%増加）となりました。

④中国

中国自動車市場は引き続き堅調に推移いたしましたが、円高による為替等の影響を受け、売上高は13億85百万円（前年同期比2.8%減少）、営業利益は50百万円（前年同期比75.5%減少）となりました。

⑤欧州

取引先自動車メーカーからの受注が増加したことにより、売上高は8億26百万円（前年同期比17.0%増加）、営業利益は12百万円（前年同期12百万円の営業損失）となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、営業活動により7億8百万円減少、投資活動により11億96百万円減少、財務活動により40百万円減少などの結果、当第1四半期連結会計期間末には100億82百万円（前連結会計年度末比18億57百万円減）となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間において営業活動に使用された資金は、税金等調整前四半期純利益が8億26百万円（前第1四半期連結会計期間比9億51百万円減）、減価償却費が10億18万円（同24百万円減）、売上債権の増加による資金減が1億62百万円（同3億97百万円減）、たな卸資産の増加による資金減が7億74百万円（同52百万円増）、仕入債務の減少による資金減が11億66百万円（前年同四半期は資金の増加2億25百万円）、法人税等の支払による資金減が7億48百万円（同2億90百万円減）あったことなどにより、7億8百万円（前年同四半期は資金の増加16億95百万円）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間において投資活動に使用された資金は、有形固定資産の取得による支出が11億25百万円（同1億79百万円減）あったことなどにより、11億96百万円（同8百万円増）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間において財務活動に使用された資金は、短期借入の増加による収入10億94百万円（同2億91百万円増）、長期借入金の返済による支出7億86百万円（同4億97百万円増）、配当金の支払による減少3億48百万円（同33百万円増）などにより、40百万円（前年同四半期は資金の増加6億69百万円）となりました。

(訂正後)

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間における経営環境は、日本では、3月に発生した東日本大震災の影響を受け、自動車業界の生産活動が制限されました。生産活動は回復基調となっておりますが、原発事故による電力不足にともない大幅な節電が求められ、円高基調も加わり、景気の先行きは不透明な状況となっております。震災の影響は、遅れて海外の生産拠点へ波及しており、予断を許さない状況が続いております。このような環境のなか、当社グループの主力製品である自動車・輸送用機器用配管製品ならびに自動車用樹脂製品は、自動車業界の生産活動の制限を受け、前年同期と比べて生産が大幅に減少いたしました。

その結果、当第1四半期の売上高は、177億86百万円（前年同期比14.1%減少）となりました。利益面につきましては、前期から取り組んできた構造改革によるコスト削減を継続してまいりましたが、経常利益は8億22百万円（前年同期比57.8%減少）、四半期純利益は5億7百万円（前年同期比54.4%減少）と、大幅な減益となりました。

製品別では、車輛配管製品（ブレーキ・燃料配管用等）、エンジンシステム向けのブレイジング製品（燃料噴射用、冷却水循環用、オイル冷却用等）、樹脂製品（クイックコネクター、樹脂チューブ製品等）及び車輛安全製品（シートベルト用）のいずれの製品も、前年同期と比べて売上が減少いたしました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①日本

3月に発生した東日本大震災の影響を受け、取引先自動車メーカー各社の生産制限により、製品受注が大幅に減少いたしました結果、売上高は76億22百万円（前年同期比31.9%減少）、セグメント利益は1億28百万円（前年同期比89.5%減少）と減収減益となりました。

②北南米

米国自動車市場は堅調に推移し、売上高は52億64百万円（前年同期比2.4%増加）、セグメント利益は2億57百万円（前年同期比47.1%減少）となりました。

③アジア

タイ、インドをはじめとする東南アジアにおける自動車市場は引き続き堅調に推移し、売上、利益ともに増加し、売上高は26億89百万円（前年同期比19.3%増加）、セグメント利益は4億17百万円（前年同期比29.4%増加）となりました。

④中国

中国自動車市場は引き続き堅調に推移いたしました。円高による為替等の影響を受け、売上高は13億85百万円（前年同期比2.8%減少）、セグメント利益は50百万円（前年同期比75.5%減少）となりました。

⑤欧州

取引先自動車メーカーからの受注が増加したことにより、売上高は8億26百万円（前年同期比17.0%増加）、セグメント利益は12百万円（前年同期12百万円のセグメント損失）となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、営業活動により7億8百万円減少、投資活動により11億96百万円減少、財務活動により40百万円減少などの結果、当第1四半期連結会計期間末には100億82百万円（前連結会計年度末比18億57百万円減）となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間において営業活動に使用された資金は、税金等調整前四半期純利益が8億24百万円（前第1四半期連結会計期間比9億52百万円減）、減価償却費が10億18万円（同24百万円減）、売上債権の増加による資金減が1億62百万円（同3億97百万円減）、たな卸資産の増加による資金減が7億74百万円（同52百万円増）、仕入債務の減少による資金減が11億66百万円（前年同四半期は資金の増加2億25百万円）、法人税等の支払による資金減が7億48百万円（同2億90百万円減）あったことなどにより、7億8百万円（前年同四半期は資金の増加16億95百万円）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間において投資活動に使用された資金は、有形固定資産の取得による支出が11億25百万円（同1億79百万円減）あったことなどにより、11億96百万円（同8百万円増）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間において財務活動に使用された資金は、短期借入の増加による収入10億94百万円（同2億91百万円増）、長期借入金の返済による支出7億86百万円（同4億97百万円増）、配当金の支払による減少3億48百万円（同33百万円増）などにより、40百万円（前年同四半期は資金の増加6億69百万円）となりました。

第4【経理の状況】

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(訂正前)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,070	10,213
受取手形及び売掛金	13,347	13,645
商品及び製品	2,856	3,172
仕掛品	2,259	2,451
原材料及び貯蔵品	4,367	4,778
繰延税金資産	424	601
その他	1,384	1,872
流動資産合計	36,706	36,732
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,016	13,203
機械装置及び運搬具	39,836	40,532
工具、器具及び備品	6,252	6,490
土地	3,915	3,928
リース資産	199	217
建設仮勘定	1,389	1,533
減価償却累計額	△41,704	△42,622
減損損失累計額	△287	△287
有形固定資産合計	22,615	22,995
無形固定資産		
リース資産	113	108
その他	371	350
無形固定資産合計	484	457
投資その他の資産		
投資有価証券	4,968	4,945
繰延税金資産	2,438	2,517
その他	508	573
投資その他の資産合計	7,915	8,035
固定資産合計	31,014	31,487
資産合計	67,720	68,219

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,303	11,276
短期借入金	4,072	5,243
未払金	1,679	1,432
リース債務	82	89
未払法人税等	919	609
賞与引当金	669	1,218
製品保証引当金	315	300
その他	991	1,227
流動負債合計	<u>21,029</u>	<u>21,393</u>
固定負債		
長期借入金	1,927	1,154
リース債務	160	153
退職給付引当金	7,079	7,351
役員退職慰労引当金	202	202
固定負債合計	<u>9,368</u>	<u>8,859</u>
負債合計	<u>30,397</u>	<u>30,252</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,481	3,481
資本剰余金	2,998	2,998
利益剰余金	30,669	30,829
自己株式	△276	△276
株主資本合計	<u>36,871</u>	<u>37,031</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,418	1,402
繰延ヘッジ損益	△15	2
為替換算調整勘定	△3,023	△2,702
その他の包括利益累計額合計	<u>△1,619</u>	<u>△1,297</u>
少数株主持分	2,071	2,234
純資産合計	<u>37,323</u>	<u>37,967</u>
負債純資産合計	<u>67,720</u>	<u>68,219</u>

(訂正後)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,070	10,213
受取手形及び売掛金	13,347	13,645
商品及び製品	2,856	3,172
仕掛品	2,259	2,451
原材料及び貯蔵品	4,367	4,778
繰延税金資産	424	601
その他	1,384	1,872
流動資産合計	36,706	36,732
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,016	13,203
機械装置及び運搬具	39,836	40,532
工具、器具及び備品	6,252	6,490
土地	3,915	3,928
リース資産	199	217
建設仮勘定	1,389	1,533
減価償却累計額	△41,704	△42,622
減損損失累計額	△287	△287
有形固定資産合計	22,615	22,995
無形固定資産		
リース資産	113	108
その他	371	350
無形固定資産合計	484	457
投資その他の資産		
投資有価証券	4,968	4,945
繰延税金資産	2,612	2,691
その他	487	552
投資その他の資産合計	8,067	8,188
固定資産合計	31,166	31,640
資産合計	67,872	68,372

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,303	11,276
短期借入金	4,072	5,243
未払金	1,679	1,432
リース債務	82	89
未払法人税等	910	600
賞与引当金	669	1,218
製品保証引当金	315	300
その他	991	1,227
流動負債合計	<u>21,020</u>	<u>21,384</u>
固定負債		
長期借入金	1,927	1,154
リース債務	160	153
退職給付引当金	7,508	7,781
役員退職慰労引当金	202	202
固定負債合計	<u>9,797</u>	<u>9,290</u>
負債合計	<u>30,818</u>	<u>30,674</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,481	3,481
資本剰余金	2,998	2,998
利益剰余金	30,401	30,559
自己株式	△276	△276
株主資本合計	<u>36,603</u>	<u>36,762</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,418	1,402
繰延ヘッジ損益	△15	2
為替換算調整勘定	△3,023	△2,702
その他の包括利益累計額合計	<u>△1,619</u>	<u>△1,297</u>
少数株主持分	2,071	2,234
純資産合計	<u>37,054</u>	<u>37,698</u>
負債純資産合計	<u>67,872</u>	<u>68,372</u>

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(訂正前)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	20,713	17,786
売上原価	<u>16,790</u>	<u>15,209</u>
売上総利益	<u>3,923</u>	<u>2,577</u>
販売費及び一般管理費	<u>1,754</u>	<u>1,762</u>
営業利益	<u>2,170</u>	<u>815</u>
営業外収益		
受取利息	8	18
受取配当金	20	27
その他	47	46
営業外収益合計	<u>75</u>	<u>91</u>
営業外費用		
支払利息	66	52
為替差損	169	11
その他	62	19
営業外費用合計	<u>296</u>	<u>82</u>
経常利益	<u>1,949</u>	<u>824</u>
特別利益		
固定資産売却益	83	2
特別利益合計	<u>83</u>	<u>2</u>
特別損失		
前期損益修正損	1	—
固定資産除却損	68	—
投資有価証券評価損	74	—
減損損失	113	—
特別損失合計	<u>256</u>	<u>—</u>
税金等調整前四半期純利益	<u>1,776</u>	<u>826</u>
法人税、住民税及び事業税	802	407
法人税等調整額	<u>△251</u>	<u>△228</u>
法人税等合計	<u>551</u>	<u>179</u>
少数株主損益調整前四半期純利益	<u>1,225</u>	<u>646</u>
少数株主利益	114	138
四半期純利益	<u>1,112</u>	<u>508</u>

(訂正後)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	20,713	17,786
売上原価	16,798	15,218
売上総利益	3,915	2,568
販売費及び一般管理費	1,745	1,754
営業利益	2,169	813
営業外収益		
受取利息	8	18
受取配当金	20	27
その他	47	46
営業外収益合計	75	91
営業外費用		
支払利息	66	52
為替差損	169	11
その他	62	19
営業外費用合計	296	82
経常利益	1,949	822
特別利益		
固定資産売却益	83	2
特別利益合計	83	2
特別損失		
前期損益修正損	1	—
固定資産除却損	68	—
投資有価証券評価損	74	—
減損損失	113	—
特別損失合計	256	—
税金等調整前四半期純利益	1,776	824
法人税、住民税及び事業税	802	407
法人税等調整額	△251	△228
法人税等合計	551	179
少数株主損益調整前四半期純利益	1,225	645
少数株主利益	114	138
四半期純利益	1,112	507

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(訂正前)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,225	646
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△420	△16
繰延ヘッジ損益	35	17
為替換算調整勘定	111	345
その他の包括利益合計	△273	347
四半期包括利益	952	993
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	836	830
少数株主に係る四半期包括利益	117	163

(訂正後)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,225	645
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△420	△16
繰延ヘッジ損益	35	17
為替換算調整勘定	111	345
その他の包括利益合計	△273	347
四半期包括利益	952	992
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	836	829
少数株主に係る四半期包括利益	117	163

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(訂正前)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,776	826
減価償却費	1,042	1,018
減損損失	113	—
のれん償却額	10	—
有形固定資産除却損	68	—
投資有価証券評価損益(△は益)	74	—
受取利息及び受取配当金	△28	△45
支払利息	66	52
有形固定資産売却損益(△は益)	△83	△2
売上債権の増減額(△は増加)	△558	△162
たな卸資産の増減額(△は増加)	△722	△774
仕入債務の増減額(△は減少)	225	△1,166
その他	786	315
小計	2,768	62
利息及び配当金の受取額	28	47
利息の支払額	△64	△68
法人税等の支払額	△1,038	△748
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,695	△708
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,304	△1,125
有形固定資産の売却による収入	96	2
投資有価証券の取得による支出	△3	△3
その他	23	△70
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,188	△1,196
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	2,757	2,615
短期借入金の返済による支出	△1,954	△1,521
長期借入れによる収入	471	—
長期借入金の返済による支出	△289	△786
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△316	△348
財務活動によるキャッシュ・フロー	669	△40
現金及び現金同等物に係る換算差額	38	87
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,214	△1,857
現金及び現金同等物の期首残高	9,313	11,939
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,527	10,082

(訂正後)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,776	824
減価償却費	1,042	1,018
減損損失	113	—
のれん償却額	10	—
有形固定資産除却損	68	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	74	—
受取利息及び受取配当金	△28	△45
支払利息	66	52
有形固定資産売却損益 (△は益)	△83	△2
売上債権の増減額 (△は増加)	△558	△162
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△722	△774
仕入債務の増減額 (△は減少)	225	△1,166
その他	786	317
小計	2,768	62
利息及び配当金の受取額	28	47
利息の支払額	△64	△68
法人税等の支払額	△1,038	△748
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,695	△708
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,304	△1,125
有形固定資産の売却による収入	96	2
投資有価証券の取得による支出	△3	△3
その他	23	△70
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,188	△1,196
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	2,757	2,615
短期借入金の返済による支出	△1,954	△1,521
長期借入れによる収入	471	—
長期借入金の返済による支出	△289	△786
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△316	△348
財務活動によるキャッシュ・フロー	669	△40
現金及び現金同等物に係る換算差額	38	87
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,214	△1,857
現金及び現金同等物の期首残高	9,313	11,939
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,527	10,082

【注記事項】

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

(訂正前)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期連 結損益計 算書計上額 (注2)
	日本	北南米	欧州	中国	アジア	計		
売上高								
(1) 外部顧客への 売上高	11,188	5,140	706	1,425	2,254	20,713	—	20,713
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	3,122	33	—	65	—	3,220	△3,220	—
計	14,310	5,173	706	1,490	2,254	23,933	△3,220	20,713
セグメント利益 又は損失(△)	1,223	486	△12	204	322	2,224	△54	2,170

(注) 1. セグメント利益の調整額には、のれんの償却額△10百万円及びたな卸資産の調整額△47百万円が含まれております。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産の減損損失に関する報告セグメント別情報)

(単位:百万円)

	日本	北南米	欧州	中国	アジア	合計
減損損失	113	—	—	—	—	113

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	日本	北南米	欧州	中国	アジア	計		
売上高								
(1) 外部顧客への 売上高	7,622	5,264	826	1,385	2,689	17,786	—	17,786
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	2,986	27	—	130	—	3,143	△3,143	—
計	10,608	5,291	826	1,515	2,689	20,930	△3,143	17,786
セグメント利益	<u>130</u>	257	12	50	417	<u>865</u>	△50	<u>815</u>

(注) 1. セグメント利益の調整額には、たな卸資産の調整額△55百万円が含まれております。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(訂正後)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期連 結損益計 算書計上額 (注2)
	日本	北南米	欧州	中国	アジア	計		
売上高								
(1) 外部顧客への 売上高	11,188	5,140	706	1,425	2,254	20,713	—	20,713
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	3,122	33	—	65	—	3,220	△3,220	—
計	14,310	5,173	706	1,490	2,254	23,933	△3,220	20,713
セグメント利益 又は損失(△)	1,222	486	△12	204	322	2,223	△54	2,169

(注) 1. セグメント利益の調整額には、のれんの償却額△10百万円及びたな卸資産の調整額△47百万円が含まれております。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産の減損損失に関する報告セグメント別情報)

(単位:百万円)

	日本	北南米	欧州	中国	アジア	合計
減損損失	113	—	—	—	—	113

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	日本	北南米	欧州	中国	アジア	計		
売上高								
(1) 外部顧客への 売上高	7,622	5,264	826	1,385	2,689	17,786	—	17,786
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	2,986	27	—	130	—	3,143	△3,143	—
計	10,608	5,291	826	1,515	2,689	20,930	△3,143	17,786
セグメント利益	<u>128</u>	257	12	50	417	<u>863</u>	△50	<u>813</u>

(注) 1. セグメント利益の調整額には、たな卸資産の調整額△55百万円が含まれております。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

(訂正前)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	31円69銭	13円86銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	1,112	508
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	1,112	508
普通株式の期中平均株式数(千株)	35,081	36,681

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(訂正後)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	31円69銭	13円83銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	1,112	507
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	1,112	507
普通株式の期中平均株式数(千株)	35,081	36,681

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。